

一般質問

本定例会での一般質問は、9月5日から9月7日までの3日間行われ、22人の議員が、37項目について質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。

一般質問とは？
議員が市の仕事全般について、市長などに報告や説明を求めたり、将来の方針等について質問することです。
一般質問は、各定例会の本会議で行われます。

聞いてみたいな、こんなこと

青木 豊
議員

行政改革推進プランの実現を

年内には進捗状況を報告



南東からあきる野市役所を望む

問 平成17年度から21年度までの5カ年計画である行政改革推進プランは内容を評価し、実現を期待する意味で、17年12月定例会に引き続き質問する。

が状況はどうか。また、中間報告を公表すべきと考えるがどうか伺う。
推進本部の今後の工程について伺う。
市長は推進本部長として19年度予算の編成に向けて、どのように対応するのかが伺う。

企画財政部長

公共施設再配置計画・委託民営化推進・受益者負担適正化・補助金負担金適正化・定員管理と組織からなる5つの検討部会はそれぞれ調査検討を行い、おおむね9月中に取りまとめをしたい。その結果を年内には中間的な進捗状況として報告したい。

検討部会からの報告を受けて審議を行い、改革実現に向けて取り組みに着手する。

市長

平成19年度予算は一層の経費削減を図らねばならない状況であり、一例として定員管理・組織検討部会の報告を受け、職員数の削減を進め予算編成に反映させていく。

合川 哲夫
議員

秋3・5・2号線の進捗は(パート2)

事業手法の転換が必要

問 JR武蔵増戸駅周辺整備については、駅前道路整備計画の主要な駅前13m道路がいよいよ着工の運びとなり、関係各位の方々のご努力に感謝を申し上げます。引き続き地元自治会との合意による計画書に基づき、今後の整備を速やかに進めて頂くことを願います。また、その他の増戸地域の道路は、整備が遅れている



秋3・5・2号線

状況であり、昨年の一般質問からのパート2として質問する。

秋3・5・2号線及び都道165号線について、その後の進展は？
平井踏切改善について、その後の進展は？

都市整備部長

秋3・5・2号線は、事業認可後20年が経ち、東京都からも事業完了について強く指導を受けており、現在、関係機関と調整を図っている。今後は調整結果を踏まえ、事業手法の転換が必要と考えている。
また、都道165号線はみちづくり・まちづくりパ

ートナー事業として拡幅整備を行った。同事業区間の西側は、秋3・5・2号線へ接続する新設道路が最も整備効果が期待できると認識しており、東京都に対し、早期拡幅整備の要望書の提出等を行っている。

東京都は、踏切対策基本方針の中で重点踏切としており、具体的な検討に向け準備を進めている。また、西多摩地域広域行政圏協議会として、JR東日本八王子支社へ要望行動を行っている。

その他、市内小中学校の施設修繕等の状況について質問した。

松原 敏雄
議員

自動体外式除細動器(AED)の設置状況は

設置場所・使い方の周知徹底を図る

問 自動体外式除細動器(AED)について

平成18年第1回定例会において議決された17年度補正予算でAEDを購入したと思う。そこで次の点を伺う。

現在のAED設置状況と市民への周知は。

産業祭等、公共性の高い行事及び市民グループの催しなどへのAED貸し出しの考えは。

総務部長

平成17年度に東京消防庁からの寄贈により、市役所本庁舎1階ロビーに1台設置し、18年3月にふれあいセンターを始め、保健施設に3台設置した。同時期に東京都の福祉改革推進事業の補助により小中学校、図書館、体育施設などの19施設に設置し、あわせて23施設に設置している。また、設置場所や使い方についても周知徹底を図っていき

現在、貸し出し用というものはない。また、消防署では、夏まつりや産業祭、自然レースなどの際に待機し、万一に備えていると聞いている。今後、貸し出しについては検討していきたい。

その他、市有地の活用、学校図書館のIT化の進捗について質問した。



自動体外式除細動器(AED)



学校教育予算の復活を

効率的な予算執行に取り組む

問 日本共産党あきる野市議団は、今年の7月に市内のすべての公立小中学校を訪問し、200項目を越える要望・意見を聞いてきた。市P連や校長会の要望も加えると膨大な量になる。その多くが学校予算の削減によるものだ。子どもたちが学ぶ学校の教育環境整備は行政の責任である。

校舎・体育館の耐震化
市長
本議会の補正予算で体育館などの耐震診断の実施対象を小・中学校の全校に

問 工事の改修計画を示すべきだ。
教育振興予算の削減は深刻だ。特に消耗品費、図書費の減額は教育に支障が出ている。
未来を担う子どもたちの教育にはお金を惜しむべきではない。教育予算の復活を強く要求する。

拡大し、実施していく。今後の学校施設の整備は、耐震診断の結果や老朽化の状況を踏まえ、緊急性や効率的な実施方法を検討し、優先度の高い施設から計画的に整備を進めていく。
予算の枠配分によって修繕料や消耗品費などが削減されたとの指摘だが、枠配分は単に経費を削減するものではなく、限られた財源の中で、いかに効率的な予算執行を図るかという視点で取り組んでいる。



屋城小学校体育館の床下

問1 財政関連について
公債費比率は
ア. 全体的な借入額、利子の包括的な財政返済計画を市民に示すべきと考えるが、また、来年度以降の財源不足は。
イ. 土地開発公社健全化計画に基づく簿価（購入時）の価格と売却時の差額は。
行政評価について



現在地が分かる地点名板



地点名板の設置を

慎重な考え方でいる

ア. 毎年行政評価を行い予算化しているとのことだが、決定までのフローと評価者のメンバーは。
イ. 評価項目と評価方法の提示を。
2 地点名板の設置について
市に訪れる観光客等の誘導策として交差点の地点名板の設置を。

市長
1 財政関連について
ア. 広報紙やホームページなどを活用し、バランスシート、行政コスト計算書、財政白書などの公表資料を通じて知らせていく。また、財源不足額は、検討段階である。
イ. 評価については、簿価の2分の1は割っている想定している。
ア. 市の総合計画に基づく40施策を、施策から事務事業まで、体系的に評価を行っている。評価者は、理事者と部長職である。
イ. 評価項目は、施策の成果水準実績、今後の市の役割度合い及び施策間の関連度合いなどを設定し、全ての施策を相対的に評価する。
2 都市整備部長
2 地点名板の設置について
当市の市道は生活道路の範囲であり、利用者の多くは市民であることから、設置には慎重な考え方を持っている。

清水 晃 議員

文化振興計画の策定は 今後検討していく

問 本市の文化振興について

答 「文化」の範囲については、

平成13年3月に策定したあきる野市総合計画「ヒューマン・グリーンあきる野」の計画の体系中の基本理念「豊かな自然と人との共生による文化の創造」の項について、文化芸術振興基本法、東京都文化振興条例を考慮しつつ施策の内容を検討したのか。

今後、文化振興計画を策定する考えは。

本市の文化施設を財団法人化する考えは。

市長

文化とは、「人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果」などと定義されているが、広くとらえると、「人間が自然とのかかわりや風土の中で生まれ、育ち、身につけていく立ち振る舞いや、衣食住、生活様式、価値観など人間と人間の生活にかかわる全ての事を意味する。」とさ



秋川キララホ・ル

れている。

東京都文化振興条例の趣旨を考慮し、「市民の文化活動の支援」を位置付けている。

文化振興計画の策定については、今後研究していく。

文化施設の財団法人化については考えていない。

その他、「捨て看板防止条例」制定、十里木・長岳周辺地域活性化の促進について質問した。

公共施設の機器・器具等不具合の再点検を

直ちに改善する体制でいる

南雲 チズ子 議員



子どもたちでにぎわった市民プ・ル

問 毎年、川や海の水難事故があるが、今年は夏休み中のプール事故から始まり、あまりにも多く発生した。埼玉県の場合は明らかに人災と思われる。最終的には市が責任を負わなければならないことになると考える。

市内の公共施設や地区会館を始め、体育館の機器、器具等の不具合はないか再点検を。

学校施設のプールを始め、遊具や運動器具等の点検、管理は安全か。

市が管理、委託など発注する場合、指導や点検を行っていると思うがどうか。

総務部長

再点検については、プール設備は排水口のネジの固定等の不具合箇所を緊急に修理した。その他の公共施設は実施していないが、専門業者の保守点検や日常的な管理の中で不具合が発見された場合は、直ちに改

善を図る体制でいる。

学校教育部長

学校施設のプールの点検は、毎年、プール清掃とあわせて安全確認を行っている。また、定例校長会においても安全指導の徹底を図っている。その他、遊具や運動器具等についても、

年1回の保守点検を実施し、安全確保に努めている。

総務部長

契約書等に従い業務を適正に履行するよう受託者への指導、点検、検査を行っている。

野村 正夫
議員

女性医師の確保と24時間救急態勢を

医師の確保・態勢を整えたい

問 新しく開院した阿伎留医療センターに、女性精神科医と現役を引退して家庭にいる女性医師の確保と24時間救急態勢を考えないか。

答 圏央道あきる野インター周辺の南郷ふれあい橋については、東京都建設局長、道路監、道路橋梁課長は総合で4分の3の補助金を約束してくれた。また、地元の都議や都議会議長も共通認識で支援体制に入っている。仮に、市が決断しないと東京都や都議会の信頼を失うことになるが、市長の決断はいかに。

市長 市民が負担する一般会計、特別会計、一部事務組合や土地開発公社など全ての借金の残高は現在いくらか。

全国的な医師不足の中で医師の定数が確保されていない。今後、医師の確保に合わせ態勢を整えたい。今後、よい返事が出来るように努力する。



公立阿伎留医療センター - 内の病室

東京都とも協議して大

体の事業金額も出ている。やらなければならぬと認識しているが、市内部で財政面での協議もしており、現在、折衝中であると了解願いたい。

一般会計と特別会計は地

方債現在見込額として、一部事務組合は地方債の元利償還分として、土地開発公社と機器類のリース料は債務負担行為残高として合計すると、平成18年度末見込み額で、824億3869万7千円となる。

方債現在見込額として、一部事務組合は地方債の元利償還分として、土地開発公社と機器類のリース料は債務負担行為残高として合計すると、平成18年度末見込み額で、824億3869万7千円となる。

高齢者に対する負担軽減策を

現行の緩和措置で対応

山根 トミ江
議員



デイケアの様子

問 国の税制改正による増税、更に国民健康保険税や介護保険料の値上げで、「これでは生活ができない」との問い合わせや相談が多数寄せられている。負担軽減など早急に対策をとるよう求める。

答 国に対し、大幅負担増の中止、見直しと、今後の増税や医療改革の凍結を求めるべきと思うがどうか。

介護保険認定者も障害者控除の対象と認められている自治体が増えている。当市でも同様に控除の対象にすべきと思うがどうか。

税制改正に伴い介護保険料が更に引上げになった方への軽減措置を設けるべきと思うがどうか。

市長 市長への手紙にも同様の要望が来ている。市長会の厚生部会等で意見が出ているか調べてみたい。

福祉部長 認定対象の要件としては、「介護保険の認定を受け、常に臥床を要し、複雑な介護を要する状態であること」となっており、当市でも平成14年度から介護度5の方で、今まで3人が適用されている。

税制改正の影響を受ける対象者は1683人となっている。保険料の急増を避けるため18年度から2年間で進んでいる現行の緩和措置の制度で対応していきたい。

町田 匡志
議員

予防対策の充実が急務

具体策を検討



・秋多中「いのちの碑」部活動中に心不全で亡くなった生徒の命日を「いのちの日」として制定し、生命の尊さを忘れないように願い、創立40周年記念の時に建立されたもの。

問 自殺の問題について考える
全国の自殺による死者の数は8年連続して3万人を越えている。交通事故による死者の4倍強の多さである。自殺に至る要因は様々考えられるところではあるが、近年は社会的、経済的な要因の増加が指摘されている。国会では、本年6月に「自殺対策基本法」が成

立した。自殺する人の数を一人でも減らすことこそ政治の責任と考え、以下質問する。
本市の自殺の経年状況と原因の特定は。
予防対策の充実が急務と考えるが市長の所見は。
総務部長
本市の自殺者の数は、市制施行以来11人から19人の範囲で推移している。また、自殺の原因は全国的な傾向として一番多いのが、

健康問題、次に経済・生活問題となっている。
市長
本年6月に成立した自殺対策基本法によれば、地方公共団体の責務として地域の状況に応じた対策をとることになっている。市としても国や東京都の動向も踏まえ、医療機関、学校、事業主、民間団体、地域等との連携により、自殺予防の具体策について検討していく。

市倉 理男
議員

ミニ花火大会の開催奨励を

財政状況考えると困難



5回を数えた小和田花火大会

問 8月19日「小和田花火大会」が開催された。平成14年に自治会内の任意団体が始めたささやかな花火大会（75発）も5回目を数えた。
市の主催ではなく、町内会・自治会等の団体主催で予算の2分の1前後を調達してもらい、残りを市の奨

励金として補助することを提案する。今年の大会は、123発の花火を打ち上げ、150万円程の予算で開催された。1発1発を今か今かと待ってじっくり見物し、大変情緒があった。市民との協働という面も考え合わせ検討していただきたい。

環境経済部長
花火大会の開催については、議会でも過去に復活してほしいという質問があったが、市の財政事情や協賛金の問題から実施できなかつたのが現状である。
助役
ミニ花火大会は、地域の活性化が図られるということで重要なことは十分理解できる。しかし、補助事業は始めるとなかなか止めることもできなくなってしまうということがある。また、一番の大きな理由としては一般財源の不足ということである。奨励金についても財政面を考えると困難な状況である。